

寺 Tego

竹の魔法で、ミライを創る。

2018.7

西日本豪雨災害により、放置竹林が土砂崩れで崩れていることに気づく

専務 尾上の紹介により静岡県の田中造園発祥の竹チップがレモン農園での有効性を実証実験により、確認



2018

広島県呉市起業家支援プロジェクトに採択。CFにより395万円の資金調達し、粉碎機を購入。広島弁で手伝うを意味する「てごう」から屋号をTEGOに決定

2019

広島県呉市起業家支援プロジェクトに採択。CFにより395万円の資金調達し、粉碎機を購入。広島弁で手伝うを意味する「てごう」から屋号をTEGOに決定



2022

竹チップ堆肥を用いた レモン農家を育てる学校 タケトノスクール レモンクラスを開校

2023

法人化し、中原建設（株）のリソースを活かしつつ、広島県の牡蠣イカダの竹を使った事業展開を開始する。



手 Tego

社名の由来は、
広島弁で手伝うを意味する
「てごう」

株式会社TEGOのミッション

竹の魔法を使いこなし、
次の世代に
より良い地球環境を残す。



今、海で 何が起きているのか？

牡蠣の養殖が盛んな広島県の瀬戸内海には12,000台の牡蠣イカダが浮いています。牡蠣養殖業が抱える問題は牡蠣筏に大量の竹を使用している点で、牡蠣の出荷シーズンを過ぎた毎年夏の時期には2,400台の筏が更新され5,400tもの竹が廃棄物となり、焼却処分されています。廃棄物処理コストの面からも適切な処理がなされているとは言い難い状況です。



竹チップ事業の技術と知見を活かし、

手
Tego

牡蠣筏の廃筏の課題を解決!

他にも

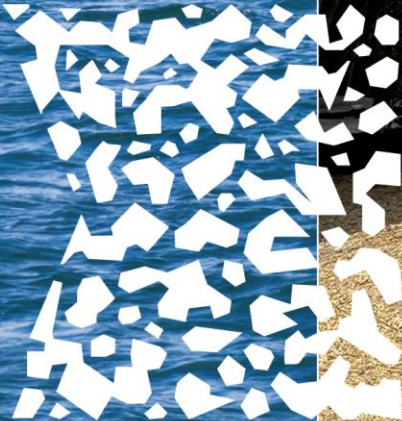
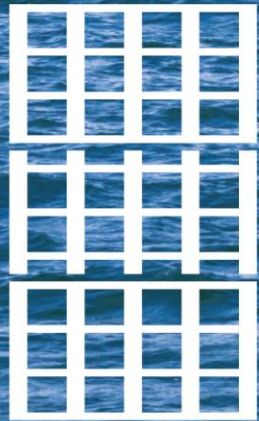
空き家増加による、庭の管理

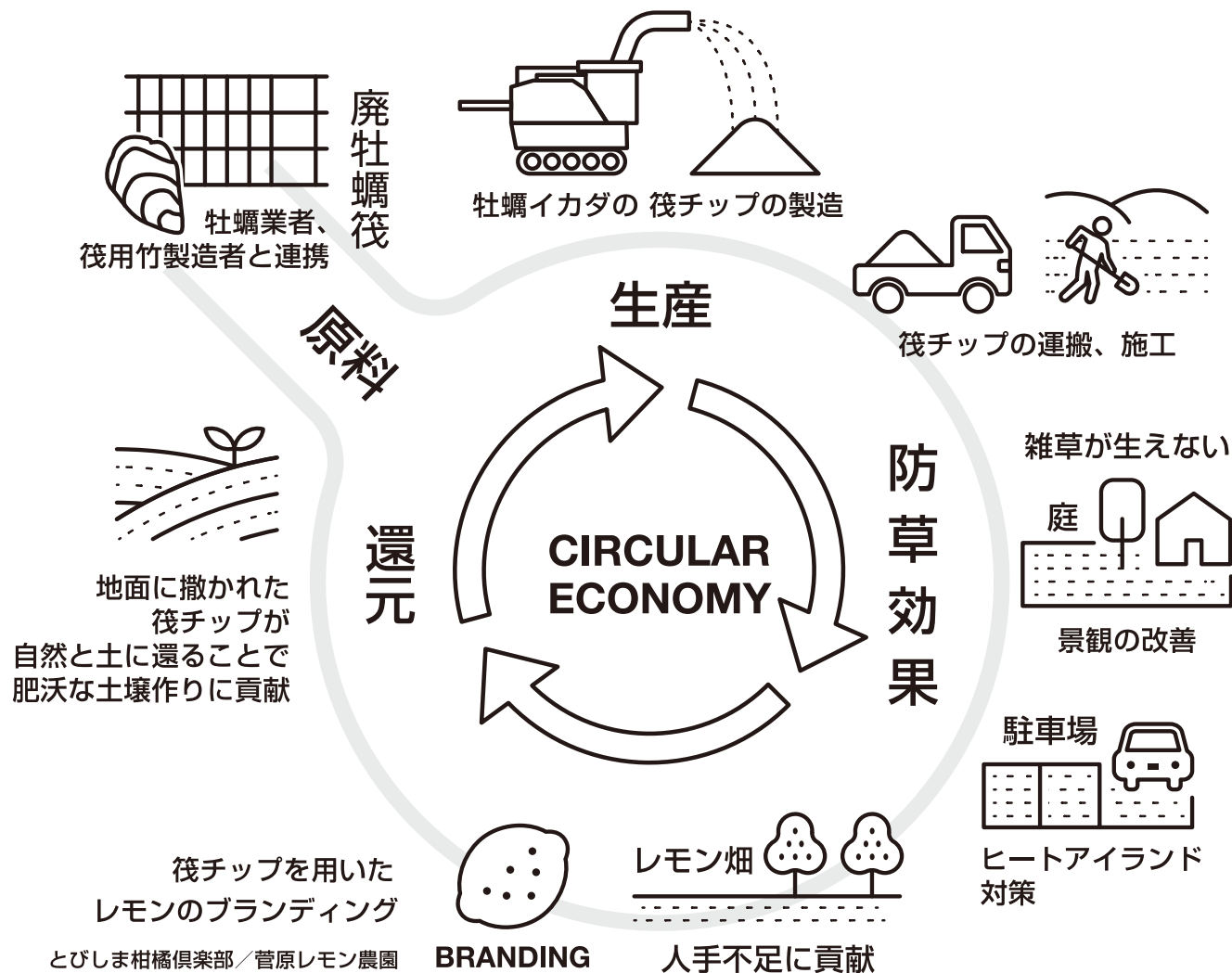
地方自治体の予算不足による道路除草工事予算の確保

農家の高齢化、除草作業の手間問題、



イカダ
チップ
IKADA CHIP





CASE STUDY



カフェ



工場内の空き地、庭園



駐車場 ヒートアイランド対策



ソーラーパネルの地面



公園



老人ホーム

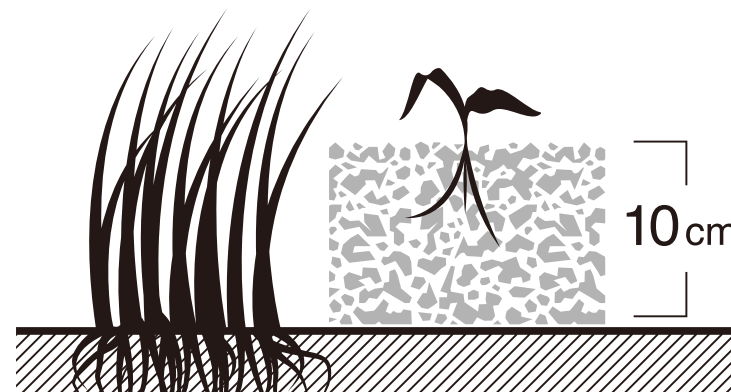
FUNCTION

— 空気層で飛来種の着床を抑える

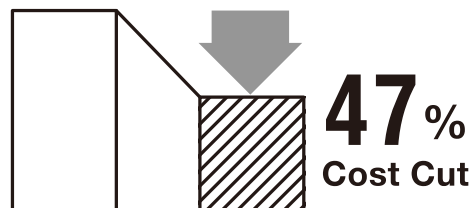
筏チップを地面から厚さ10cm以上撒くことで、雑草を抑制する効果があります。飛来種の着床を抑え、雑草の生育を抑制し、生やしません。

(当社比90%減)

筏チップは、環境や人体や動物に悪影響を及ぼす可能性のある除草剤よりも安全かつ安心してご利用いただけます。



MERIT



除草に関わる経費47%削減!

筏チップを撒くことで、雑草が生えず、除草にかかっていた人件費と、定期的に散布する必要のあった除草剤費用の削減に貢献します。



ヒートアイランド対策

日中の熱を逃さないアスファルトやコンクリートと比較し、熱をためにくい性質を持つ筏チップを空き地や駐車場に撒くことで、路面の温度上昇を抑えます。



環境配慮型の企業活動に

竹チップは焼却対象である広島牡蠣養殖で使用した牡蠣殻を原料と使っていますのでとってもエコ!地球に優しい上、地域貢献にもなります。



竹林整備団体
牡蠣養殖業者
漁業組合

原料



廃牡蠣イカダ



放置竹林

製造
竹チップ、堆肥

TeGo

防草事業

地場の工務店、
土木業者
造園業者との連携

ヒート
アイランド対策
CO2削減
工場の緑地管理
手間の削減

3年ごとの
追い撒きで
再度顧客に
リーチ

農業関連事業

家庭菜園の方、
農家、農業法人

竹チップ堆肥の
販売
レモンの生産
農業学校

竹関連販売事業

花屋、
ホームセンター
イベント設営

建築のリソースを
生かした
竹での
イベントブース
設計施工など

| | + 要因 | - 要因 |
|----|--|---|
| | S 強み | W 弱み |
| 内部 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資元が55年実績のある老舗の建設会社 リソースと知見（重機やダンプなど設備を揃える） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下茎からの植物が防げない ・ 斜面形状では使えない |
| | O 機会 | T 驚異 |
| 外部 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ハウスメーカー、建設会社などへのアプローチ ・ SDGsなど環境に対する世間の意識の高まり ・ 農業の高齢化による除草の手間 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 採算を無視した大手企業の参入 |

市場動向、マーケティング戦略

少子高齢化により人口減少に伴う、空き家の増加率は年々増加し、適切な管理が求められる

広島県の特産物である牡蠣のイカダの処分は年間5760tにも及び、大半は焼却処分となっており問題になっている

地元呉市で公共施設の更新費用に今後26年で直近10年の約2.5倍の112億円が必要とされ、土木での除草工事における予算確保は難しい

工場緑地法により、大企業の工場の20%は緑地にする必要があり、維持管理にも相当なコストがかかる

価格面や環境面においても、他の防草対策と比べ優位である

| | 筏チップ | 砕石 | 防草シート | 固まる真砂土 | コンクリート |
|-------|--------------------------------------|------------------|--------------------|-------------------------|-----------------|
| コスト㎡ | 2,000～3,000円 | 3,000円 | 1,000～2,000円 | 3,000～4,000円 | 8,000～10,000円 |
| 見た目 | ◎ | △ | × | ○ | ○ |
| 耐用年数 | 3年～5年 | 半永久 | 1年～10年 | 5年程度 | 50年 |
| メリット | 景観良し 植栽周りにもできる 駐車場にも利用可能 | 長持ちする | 手頃、安い | 景観良し | 防草効果高い 駐車場OK |
| デメリット | 追い撒きが必要 スギナなど地下茎の雑草 × | 施工しにくい 雑草が生える | 環境に負荷がかかる 見た目悪い | コケが生える 駐車場利用には適していない | コスト高 植栽にできない |

筏チップによる防草事業を展開している企業は中四国にはなく、実質的な競合製品は、既存の防草手段として販売されている砕石、防草シート、固まる真砂土、コンクリートの比較となります。

起業する前の
個人事業主Tegoの時から

3年間での獲得市場規模は

400%増



TAM 1727億7000万円

日本国内で緑地に擁する市場規模

SAM 58億円

防草シート以外

(固まる真砂土などの商品の市場規模)

施工単価優位にならない景観配慮型商品の市場規模

SOM 3億4560万円

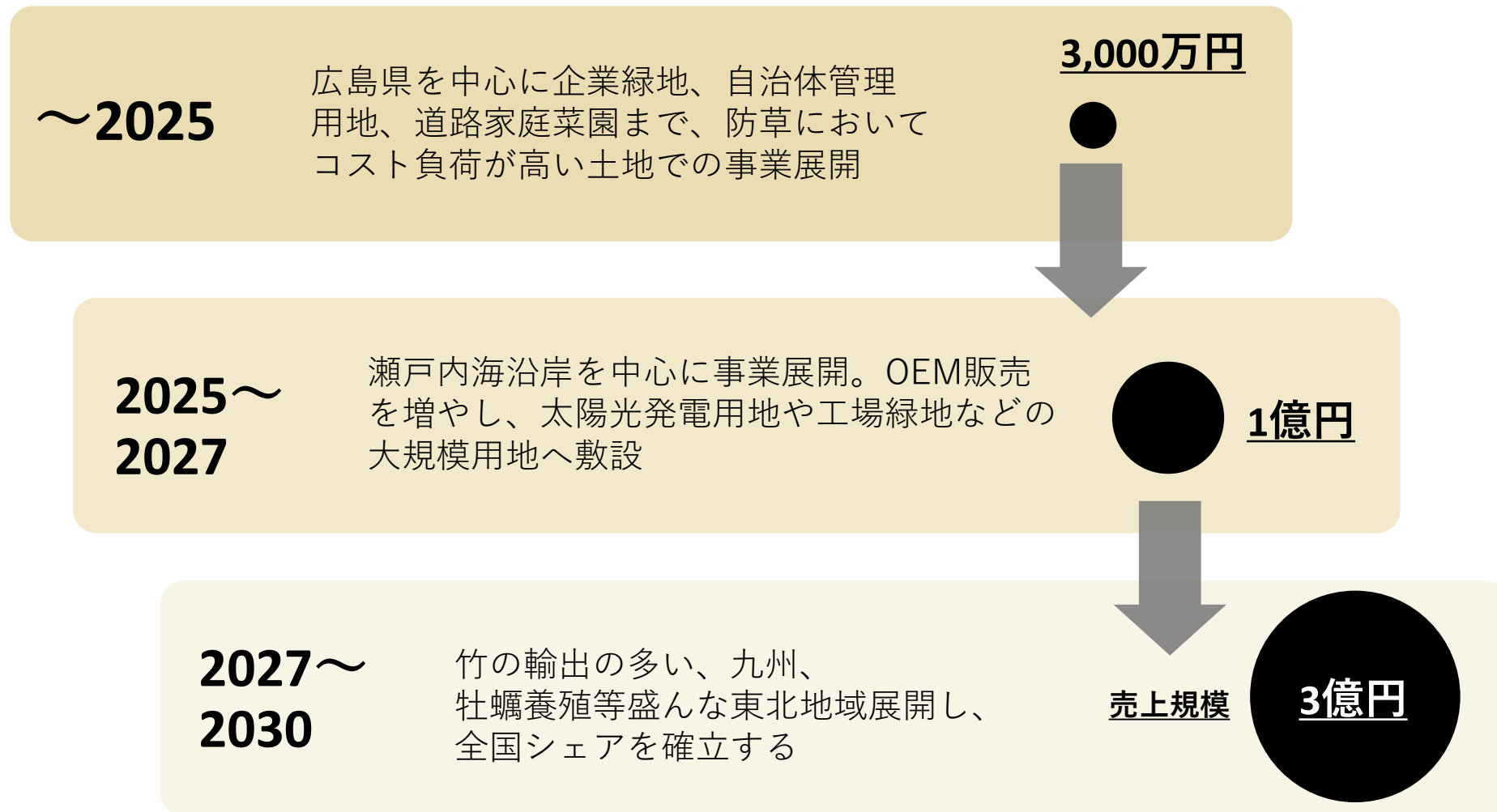
SOM

172,800㎡ 牡蠣イカダ竹チップ
(年間供給可能数量)

放置竹林の活用による
防災への取り組み

除草剤による人体、土地への悪影響
除草作業の社会コストの削減

廃棄処分される筏を有価物に替え
社会の無価値を有価物へチェンジ





代表取締役

中原 佑介

Yusuke Nakahara

建築からアートPJの発起人までマルチに活躍。住空間最低化と環境の両立を目指す

<兼務>

中原建設(株) 代表取締役



専務取締役

尾上 正幸

Masayuki Ogami

元大手企業、自治体、ITスタートアップを経て参画。産官学ネットワークと広い営業チャンネルを持つ

<兼務>

広島大学 特命助教
(株)LTS マネージャー



C D O (最高デザイン責任者)

上田 治徳

Harunori Ueda

デザイン会社代表。多くの企業の新企画のデザインを手掛ける。TEGOのデザインを担当

<兼務>

AND Design Inc.
代表取締役



C M O (最高marketing責任者)

井村 学

Manabu Imura

マーケティング専門家。大手靴メーカー等でマーケティングの責任者を歴任。TEGOの販売計画を担当

<兼務>

Bligle.inc 代表取締役